

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol. 35

ケースその1

【内容】隣の工場の粉塵と悪臭に困っているので注意して欲しい

隣の整備工場（会員工場）で屋外のリフトを使いトラックのブレーキの清掃（エアーガン使用）をしていて、その粉塵と悪臭で困っている。作業をやめるよう注意して欲しい。

【対応】

現地で調査して、注意することで了解を得た。当日は工場が休業していたので翌日現地で確認。工場長が対応。屋外と言っていたが、実際には屋根があるものの入り口付近で、周囲は住宅密集地。工場側はその場所では作業しないように注意しているとの事であったが、苦情が入っているのは何らかの原因があるはず。このことに係らず、作業の際は粉塵や騒音、悪臭等近隣住民に迷惑がかからないような設備改善対策、作業方法の検討を行う等、細心の注意を払うようお願いした。工場長は「お詫びに伺いましょうか？」と言ったが、相談者からは「注意して改善できれば良い」とのことであったので、作業員に徹底させることと、担当者が代わっても引き継ぎを確実に行うように重ねてお願いした。

ケースその2

【内容】巡回回収車にバッテリーを販売したが、何か問題はあるのか

巡回バッテリー回収車にバッテリーを販売し、数百円を受け取ったが、その話をある会合でしたところ「それは違法ではないか？」という話になった。良く意味が分からぬ。何が違法で、違法ならどんな法を犯しているのか教えて欲しい。

【対応】

その場に居ず、話が見えにくいが、廃バッテリーを「産業廃棄物」とした場合の話として仮定で説明する。もちろん御社は投棄したのではなく、有価で売っているのだから産廃ではなく問題ないと言うかもしれないが、それを証明するものが無い。例えば、領収書。発行したか？と聞くと、「わずかな金額でもあり、発行していない」と言う。この認識がすでにズレている。雑収入として会社の経理に入れなければ、細かいが、所得をごまかしたことになり、引いては脱税にもなる。

ここでその話は避けるが、「産廃」扱いで話を進めると、仮にバッテリーを渡した回収業者が御社の渡したバッテリーに利用価値がなく、どこかに不法投棄し、それが見つかった時に御社の名前を出されたら御社はそのバッテリーを「売った」と言えるか？という話である。販売した証明がなければ、排出事業者は御社になり、御社が不法投棄したことになる可能性は否定できないということ。バッテリーの不法投棄は環境汚染に直結するし、海外に輸出したらバーゼル法（バーゼル条約）も絡む。（バーゼル法に関しては簡略説明のみ行った）バッテリーの行き先がわからない現時点では違法かどうかは微妙だが、リサイクル法、産業廃棄物処理法、バーゼル法などが絡むかもしれないから違法という判断ではないか。

会合でそういった話が出たのなら、御社は今後、廃バッテリーを販売したら必ず「収入」として帳簿に書き入れ、受け取ったお金は必ず領収書を切って会社に入れることを心がけたい。そうすることで廃バッテリーは「不法投棄」にならず「有価販売」したことになり、最終の排出事業者は買って帰ったバッテリー回収事業者だということを領収書で証明できるということになる。

産業廃棄物の不法投棄は罰金の金額が大きく、今後不用意な行動は避けて欲しい。

ホイール取り付け時の注意事項について

■ 内容

タイヤ交換やローテーションなどホイール取り付け時、ナット及びボルトのネジ部やホイールとハブ・ディスクローター・ドラムの接触面に砂や鏽などが付着した状態で再取付けすると、ネジ部をつぶしたり、規定トルクで締付けても締結力（軸力）が不足して緩みが発生するおそれがあります。

緩みの発生はナットの脱落やボルトの折損につながるおそれがありますので以下の点に注意して下さい。

■ ハブボルト及びハブナットのネジ部の清掃について

ネジ部に砂や鏽などが付着していると、ネジ部に発生する摩擦力が大きくなり、規定トルクで締め付けても締結力（軸力）が不足して、緩みが発生するおそれがあります。

また、乗用車などはネジ部に油脂類が付着していると、規定トルクで締め付けても締結力（軸力）が高くなりすぎるため、ボルトが変形し折損するおそれがあります。

なお、ネジ部が著しく荒れている場合は交換して下さい。

【ハブボルトの清掃】



■ ナット座面の清掃について

取り付けの際は、必ずホイールナットの座面部の砂や鏽などを清掃して下さい。

著しくホイールのナット座面が荒れている場合はホイールやナットを交換して下さい。

【ナット座面の清掃】

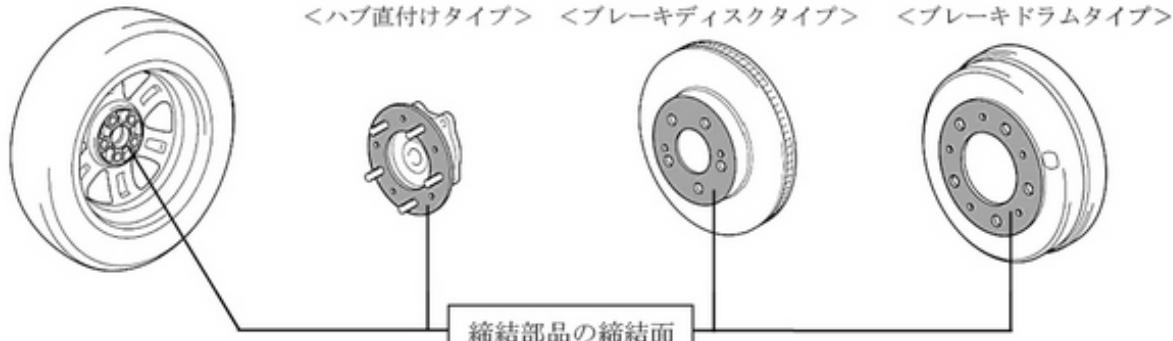


■ 締結面の清掃について

取り付けの際は、必ず締結面の砂や鏽などを清掃してから使用して下さい。

著しく締結面が荒れている場合は交換して下さい。

【締結部品の締結面】



【締結面の清掃】<ホイール裏面の清掃例>



【締結面の清掃】<ハブ直付けタイプのホイール当たり面清掃例>



■ ホイールナット締め付け時の締結力（軸力）確保について

ホイールナットを締め付ける際、最初に手で座面まで締め付けられることを確認して下さい。

手で軽く締め付けられない場合は、ネジ部の異常を取り除いてから締め付けを行って下さい。
異常が著しい場合は部品を交換して下さい。

必ずトルクレンチを使用し、修理書に記載されている規定トルクで締め付けて下さい。